

人間科学研究所は、「教育科学研究所」(1990年設立)を前身とし、ひろく人間と社会に関わる総合的・学際的研究を行うことを目的として2000年に立命館大学に設立された研究所です。学部や研究科を超えて、学内外の研究者、大学院生、学部生、中学・高校の教諭、福祉専門職などが参加する多くの研究プロジェクトをすすめています。当研究所は、「対人援助」(Human Service)に関する研究と実践を中核的課題とし、基礎と応用、実験と実践、そして心理・教育・社会・福祉といった既存学範(ディシプリン)の垣根を超え、様々な地域とそして実践者と連携しながら研究活動を展開しています。



研究拠点_創思館

研究テーマの例

- 「ひきこもり」に悩む若者・家族への支援
- 障害のある人を対象としたジョブコーチ
- 情報コミュニケーション技術を用いた援助法
- 特別支援学級の指導法
- 高齢者の認知機能への介入研究
- 東アジアにおける発達障害児支援教育プログラムの開発
- ナラティブ・アプローチの方法論的研究
- 読書のバリアフリー化推進研究
- 障害をめぐる学際的研究(障害学)
- 生殖をめぐる技術と当事者支援
- 男性介護者への支援法
- 非行、虐待、DVなどの問題解決に向けた研究
- 医療・福祉における制度とケア実践をめぐる研究
- 応用錯視学のフロンティア研究



装置の中に立つ実験参加者



環境傾斜装置を操作する実験者



就労シミュレーションを行う学生達

定期刊行物

- 学術雑誌『立命館人間科学研究』(年間2冊発行/現在23号)
- 成果公表刊行物:共同対人援助モデル研究(年間3冊発行/現在2号)
(2011年10月1日時点)



2010年度主な公開企画

- 第5,6回 東アジア発達障害児の治療教育プログラム開発に関するセミナー(10/5/31,11/6)
- 質的研究ワークショップ「ナラティブ研究におけるマイクロジェネティックアプローチの実際」(10/7/11)
- Katarzyna Chawarska氏 公開講演会「乳幼児期における自閉症スペクトラム障害」(10/8/22)
- 国際セミナー・シリーズ「法廷における映像技術と心理的影響:公正な裁きをめぐるポリティクス」(10/9/15)
- William O'donohue氏 招待講演会「対人援助における協調と融合:臨床研究の最先端」(10/12/8)
- 公開シンポジウム 家庭内暴力をのりこえる「家族臨床理論」の構築にむけて(10/12/12)
- 男性介護研究会シンポジウム「家族であること 介護すること—在宅と施設のあいだで—」(11/3/12)
- 公開講座 シネマで学ぶ「人間と社会の現在」No.5~No.8 映画『空気人形』等

| | |
|--------|---|
| 所長 | 松田 亮三(産業社会学部・教授) |
| 主な研究拠点 | 立命館大学(衣笠キャンパス) 人間科学研究所 |
| お問合せ先 | 立命館大学 研究部 リサーチオフィス(衣笠)内 人間科学研究所事務局 TEL:075-465-8358 FAX:075-465-8245 E-mail:ningen@st.ritsumei.ac.jp URL:http://www.ritsumei-human.com/index.html |